枠で囲んで発音用符号を付す例

ヲコト点などの特別な符号を出力したい場合の例です。

コマンド	字
\kanwaku{亜}	亜
\kanwakulu{亜}	亜
\kanwakuLU{亜}	亜
\kanwakuld{亜}	亜
\kanwakuLD{亜}	亜
\kanwakuru{亜}	亜
\kanwakuRU{亜}	亜
\kanwakurd{亜}	亜
\kanwakuRD{亜}	亜

枠付き符号出力マクロ

右のようなコマンドで、各漢字を□で囲み、上下左右の隅に○あるいは●を出力することができます。もし○や●以外の記号・文字を出力したい場合は、\kanwaku{}コマンドの直後に、後に詳しく述べるように\kanruby コマンドを付し、引数で適当な位置を指定します。例えば、

```
\LARGE\kanwaku{亜}\kanruby<5>[-.3]{ア}
\kanruby<5>[-.3][.25]{ア}
```

と指定すると、亜(ア)と出力されます。